

7-1回 H9/10

穴窯作陶ご案内、その他諸件

平成9年7月20日

入江 平治

作陶ご案内

日時 9月2日 9時30分～4時30分
場所 枚方市立御殿山美術センター (tel 0720-47-8351)
指導 神山 一陶先生
持参品 作陶用具 及び自分の作陶分の陶土 (当日先生にもご持参いただけますので、陶土が必要な場合は予め入江まで連絡ください。)

陶土及び作品

- 一人当たり20～30kg 検討で予め穴窯に合うような作品(手捻りが穴窯焼きに適しているようです)しておいて下さい。各自出来れば大型の作品を一点は作っておいて下さい。当日は1～2点程度しか出来ないと思います。又既作のご批評をいただくのも可能です。
- 陶土は信楽古陶(20kg 1,400円 かね利 調べ)又はひいろ(20kg 3,100円)が耐火性があり適しているとのことです。各自ご手配ください。
(7月29日に(株)かね利に陶土購入に行きますので前日迄に連絡いただければで買ってきます。必要な方は北川まで連絡くださいtel. 0742-46-4905)
- 作品は窯詰め前作品の厚さにもよりますが、10日以上乾燥させておいてください。

穴窯焼成スケジュール

10月3日(金) 作品搬入(信楽町役場駐車場に午後1時集合)
10月4日(土) 窯詰め(先生及び穴窯主人の指導) -- 窯法伝承3～4名
10月5日(日)～8日(水) 窯焼き(当番が焚く) ... (24時間) 2名: 2交代
10月14日(火)又は15日(水) 窯出し(全員集合) 1=AM9:00～PM9:00
2=PM9:00～AM9:00

費用

9月2日当日に各自4万円ご持参下さい。窯焼成費用35万円プラス先生のご指導の御礼などの諸経費です。後日精算いたします。

その他の詳細は決まり次第連絡させていただきます。良い作品のできるのを、お祈りします。

以上

(追伸) 穴窯は 東信セラアート(株) tel. 0748(82)1640です。

信楽町役場駐車場はJR信楽駅に向かって右側です。

(担当者北川)

信楽焼作陶及び穴窯焼成総合指導

信楽焼伝統工芸士 神山一陶先生

作陶土

桂土 又は信楽古陶土（古陶土小は焼成すると光ることがあるので、古陶土大の方が良い）

場所滋賀県甲賀郡信楽町江田 ⁰⁷⁴⁸⁻⁸²⁻¹⁶⁴⁰ 東信セラアート（株）の持ち窯で国道422号線から多羅尾方面にぬける側道を2キロ程入った山中で近くに戦国時代の古城、小川城跡がある（信楽の町より車で15分程のところである）穴窯指導

窯詰め及び焼成については、一陶先生及びセラアートの責任者（当穴窯を築いた人で焼成や陶土についての専門家）に指導いただける。

一人当たりの
作陶量一陶先生の説明によれば穴窯焼成には、手捻りの作品のほうが面白いものができるとのことである。（先生の作品は全て手捻りで、宗陶苑に多数の作品が展示されており、彫塑も多い）10名参加として、一人当たり、約30キロの粘土で作品を成型すれば量的によいとのこと。作陶指導

場所が確保できれば一陶先生が直々出向いて、作陶指導をしてくださるとのこと。見事な彫塑の技術もあり、大物作成もお手の物であるので、穴窯に適した作風指導が受けられることと思う。

穴窯の特徴

火前で自然釉の面白く掛かるのは、炊き口一列目及び炊き口横のスペースで、二列目、三列目と奥にゆくほど灰は掛からなくなる。従って各自の作品が平等に火前に行くよう窯詰めは専門家にまかせることになる。窯詰めには、早くて半日、一日掛かることもある。火の廻りがよくなるように詰めるにはやはり専門知識が必要である。

焼成時間

約100時間（4昼夜） 冷却時間100時間

24時間で 800度C

48時間で 1、250度C

72時間で 1、250度Cを維持 （火前では1、300度C以上

96時間で 1、250度Cを維持 になっている）

窯容積

入口寸法 幅 630mm 高さ 700mm
炉内寸法 幅 570~1300mm 奥行 2200mm
高さ 300~1000mm
内容積 1.8立方メートル

一列目棚板 (400 x 450mm) 3枚 x 2段 (支柱長さ270)
二列目棚板 (325 x 450mm) 3枚 x 2段
三列目棚板 (320 x 390mm) 3枚 x 2段
四列目棚板 (325 x 425mm) 2枚 x 2段
五列目棚板 (325 x 425mm) 2枚 x 2段
六列目棚板 (400 x 450mm) 1枚
(窯の概要図下記)

焼成当番

6時間2交替で、延べ16名が必要 仮眠設備有り

時期

10月中旬頃が季節もよく、予約もはっていない。

費用

松割木約250束の燃料代、窯借料も含め35万円です。

